

2026年度 AOTS 国内マネジメント研修

本プログラムは、日本政府の補助金を受けて実施されます。

企業経営研修コース [EPCM]

2026年9月2日-9月15日

コースディレクター :

伊藤 彰敏 南山大学 経営学部経営学科 教授



東京大学卒。慶應義塾大学大学院においてMBA、ウェスタン・オンタリオ大学アイヴィー経営大学院においてPh.D.を取得。一橋大学大学院経営管理研究科教授を2007年から2023年まで務め、現職に就く。研究はコーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス、SDGs、情報開示、価値評価等。論文・著書多数。企業や政府組織向けの研修プログラム開発を数多く担当。

アソシエイトコースディレクター :

矢作 恒雄 慶應義塾大学 名誉教授



慶應義塾大学卒。三菱商事(株)勤務後、スタンフォード大学にてMBA(優秀賞)、MS(統計学)、Ph.D.(全米経営学博士論文優秀賞)を取得。中堅企業経営、ベンチャービジネスの起業・経営を経て、慶應義塾経営大学院教授、大学院長、財務・一貫教育校担当常任理事、ニューヨーク学院理事長を務めた。日米企業の外部役員、政府・地方自治体・公益財団法人等の委員・役員・顧問などを歴任。専門分野は企業・競争戦略、統計学。1983年、本EPCMプログラム発足以来2022年までコースディレクターを務めた。

本コース(EPCM)は、日本企業の多くが採用する経営手法の中でその優秀性が検証済みの手法とその根底にある考え方を学ぶために設計された、AOTSの代表的かつ最も人気のあるコースです。発展途上国の企業経営者を対象に、実践的経営能力の向上を目的に1983年に開講され、参加者はこれまでに世界各国から1,000名を超えます。今年で46回目(うち2回はオンライン)となり、コースディレクターに伊藤彰敏先生、そして開講以来長年コースディレクターを務めてこられた矢作恒雄先生のご指導のもとでの実施となります。

■ 目的

本コースは、経営幹部である参加者の企業トップとしての経営者能力の向上を図ることで、参加者の企業の経営そのものの質的向上の実現を目指します。

■ ハイライト

- 本コースでは**ケースメソッド**を採用し、参加者は様々な背景や経験をもつ人々と意見交換します。
- 参加者は各ケースの**複雑な経営意思決定に実際に関わっていると想定しながら、講師を交え徹底した討論**をすることで、トップマネジメントとしての思考力を高めることができます。



コーススケジュール

日付	午前	午後
2日 (水)	オリエンテーション 開講式	[講義/討論] 日本的経営
3日 (木)	[講義/討論] 経営のための経済学	
4日 (金)	[講義/討論] 企業倫理	
5日 (土)	[講義/討論] マーケティング	
6日 (日)	休日	
7日 (月)	休日	
8日 (火)	[講義/討論] 技術革新と企業経営	
9日 (水)	[講義/討論] 財務管理	
10日 (木)	企業等見学 (遠隔地) (移動)	[見学] 企業理念・生産管理
11日 (金)	[見学] 日本企業における企業理念	
12日 (土)	休日	
13日 (日)	休日	
14日 (月)	[講義/討論] 人的資源・組織マネジメント	
15日 (火)	[講義] 経営者講演	最終グループ発表会 修了式

参加対象者

役員クラスの上級管理職で、その組織運営に全責任を有する者。

参加定員

14名

言語

英語

(日本語/英語の通訳がつくこともあります)

※英語による自分の意見の表明ができることが必須です。本プログラムを十分に実感していただくためには、ディスカッションへの積極的な参加が必要です。

参加費

参加費は日本政府から一部補助されます。詳しくはお問い合わせください。

申込締切

2026年6月16日

2026年6月16日日本着分まで

過去に実施された同コースの動画



申込先:

AOTS 企業連携部 企業連携第1/第2グループ Tel: 03-3888-8221

Email: kigyo-inquiry-az@aots.jp

問合せ:

AOTS 海外統括部 海外協力第1グループ Tel: 03-3888-8256

Email: shouhei-au@aots.jp

開催地:

AOTS 東京研修センター (TKC)

研修センターは、研修施設と宿泊施設 / 研修参加者のための宿泊施設および食事を提供します。(住所: 東京都足立区千住東1-30-1)



応募詳細は以下のURLまたはQRコードより

「企業経営研修コース (EPCM) 募集要項」をご確認ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

